

近藤勝彦(自然環境研究 助手) 10月1日付  
 佐竹 明(ヨーロッパ研究 教授) 1月1日付  
 前田 渡(情報行動基礎研究 教授) 1月4日付  
 木本忠昭(社会文化研究 助手) 12月20日付  
 (事務の部)  
 吉岡由紀子(庶務係) 6月1日付  
 金子ふじえ(庶務係) 7月1日付  
 房野 圭子(人間行動研究) 11月1日付  
 小方 鈴子(経理係) 12月1日付  
 <昇任>  
 (教官の部)  
 松本 昭(中国語 教授)東京教育大学文学部助教  
 授より 1月1日付  
 (事務の部)  
 田部 実(事務長補佐)人事課任用係長より  
 11月16日付  
 <配置換>  
 (教官の部)  
 岩倉 国浩(英語 助教授)静岡大学教育学部助教  
 授より 10月1日付  
 熊丸 尚宏(自然環境研究 助教授)広島大学理学

部助教授より 10月1日付  
 水本 久夫(基礎科学研究 教授)岡山大学教育学  
 部教授より 2月1日付  
 清水廣一郎(ヨーロッパ研究 助教授)東京教育大  
 学文学部助教授より 2月1日付  
 <配置換(転出)>  
 (教官の部)  
 杉浦 成昭(情報行動基礎研究 教授)東京教育大  
 学理学部教授へ 11月15日付  
 (事務の部)  
 小松 巖(事務長補佐)工学部事務長補佐へ  
 11月16日付  
 <辞職>  
 (事務の部)  
 金本 節子(庶務係) 6月30日付  
 保田 育子(人間行動研究) 10月5日付  
 橋口美治子(自然環境研究) 12月28日付  
 <死亡により退職>  
 横尾 定理(英語 教授) 7月16日  
 井上 則好(基礎科学研究 教授) 12月9日

## 編集後記

総合科学部が創設されて3年。第1期生は最後の年度を迎えることとなった。これから卒業論文それに就職とあわただしい生活をひかえて、いささか緊張していることだろう。この時期は研究の苦しみ、楽しみも多少味わえるまたとない好機である。社会に巣立つ土台を築くための大切な時でもある。頑張っ

てほしい。  
 この間、本学部に多くの教職員を迎えることができた。本号は着任まもない先生方をわずらわし、特に執筆をお願いした。ご自分の研究をとおしての学問論がそれぞれ展開されていておもしろい。これらの内容から「総合科学」に対する様々な考え方、意見のあることもうかがえるが、いずれもわが学部を思っていることとて、よんで楽しく、うれしい。

行動派の2人の学生からもご覧のような真面目で

厳しい記事が寄せられた。現代社会の盲点を鋭く突いたもので、考えさせられるところもある。

学部内外に、様々な形で「研究体制」について、あるいは「カリキュラム」についての議論の輪が広がっているようだ。大学院問題をひかえて、今でも揺れ動いているわが総合科学部である。苦難な学部創りの道のりはこれからもまだまだ続くが、われわれはこれらの諸問題を適切な見通しをもって、柔軟な態度で、理性的に対処していかなければならない。

新緑のキャンパス。新入生諸君もこの「飛翔」を新鮮な気持で手にされたことと思う。「飛翔」は教職員と学生とのパイプ役を果たしている学部機関紙である。活用してほしい。鳥のように大きくはばたいてほしい。

表紙の写真、それにカットは本学部事務官の佐伯さんと大谷さんをお願いした。感謝する次第である。

(K・N)